

東北地方 1 か月予報

(6月4日から7月3日までの天候見通し)

平成23年6月3日
仙台管区气象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

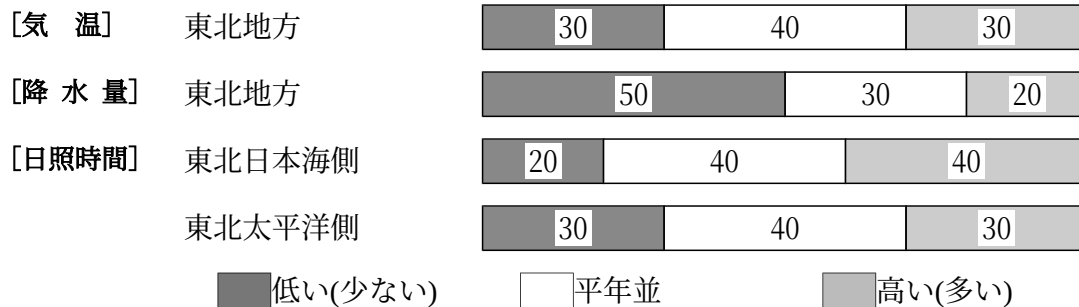
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込みです。

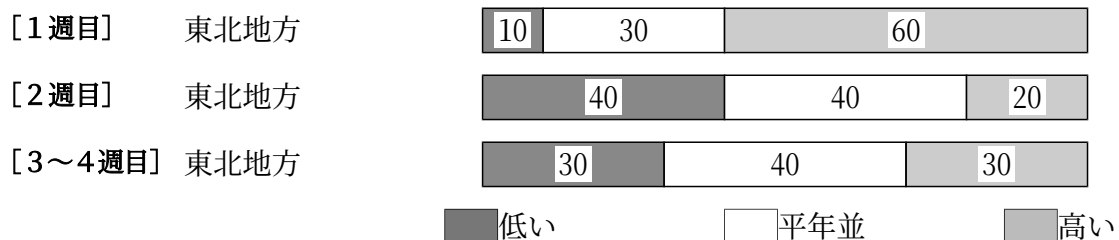
向こう1か月の降水量は、少ない確率50%です。日照時間は、東北日本海側で平年並または多い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率60%です。2週目は、平年並または低い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 6月 4日(土) ~ 7月 3日(日)
1週目 : 6月 4日(土) ~ 6月10日(金)
2週目 : 6月11日(土) ~ 6月17日(金)
3~4週目 : 6月18日(土) ~ 7月 1日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は6月10日
3か月予報: 6月23日(木) 14時

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (°C)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温(°C)		
				1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	17.5	80.1	175.5	16.1	17.0	18.3
深浦	17.7	97.8	177.8	16.3	17.1	18.5
むつ	16.0	107.3	157.7	14.7	15.5	16.7
八戸	16.6	114.0	162.8	15.4	16.0	17.2
秋田	19.5	131.7	170.5	18.2	19.1	20.2
盛岡	18.6	121.6	148.0	17.4	18.3	19.2
大船渡	17.7	182.5	142.1	16.4	17.2	18.3
宮古	16.4	122.5	144.4	15.3	15.9	17.0
仙台	18.8	154.0	126.4	17.7	18.3	19.3
石巻	18.0	121.4	142.9	16.8	17.6	18.6
山形	20.1	116.6	150.0	19.0	19.8	20.7
新庄	19.2	138.1	147.6	18.0	18.8	19.8
酒田	20.0	135.8	170.6	18.7	19.5	20.6
福島	20.4	130.7	128.8	19.4	20.0	20.9
若松	20.4	120.4	153.5	19.3	20.1	20.9
白河	18.9	162.7	120.0	17.8	18.5	19.5
小名浜	18.7	155.2	135.1	17.6	18.2	19.3

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1981～2010 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間、平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(°C)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5～+0.5	85～113	94～106
東北日本海側	-0.4～+0.5	82～109	95～105
東北太平洋側	-0.5～+0.5	86～110	92～108

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.5～+0.7	-0.6～+0.6	-0.5～+0.8
東北日本海側	-0.5～+0.6	-0.7～+0.6	-0.6～+0.6
東北太平洋側	-0.6～+0.8	-0.7～+0.7	-0.6～+0.9

＜参考資料（利用上の注意）＞

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成23年6月3日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月（6月4日～7月3日）：

平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

向こう1か月の降水量は、少ない確率50%です。日照時間は、東北日本海側で平年並または多い確率ともに40%です。

1週目（6月4日～6月10日）：

気圧の谷や前線の影響で、東北南部を中心に曇りの日が多く、明日（4日）は雨の降るところがあるでしょう。期間のはじめと終わりは高気圧におおわれて晴れる日がある見込みです。

気温は、高い確率60%です。

2週目（6月11日～6月17日）：

平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。オホーツク海高気圧が出現する見込みです。

気温は、平年並または低い確率ともに40%です。

3～4週目（6月18日～7月1日）：

平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

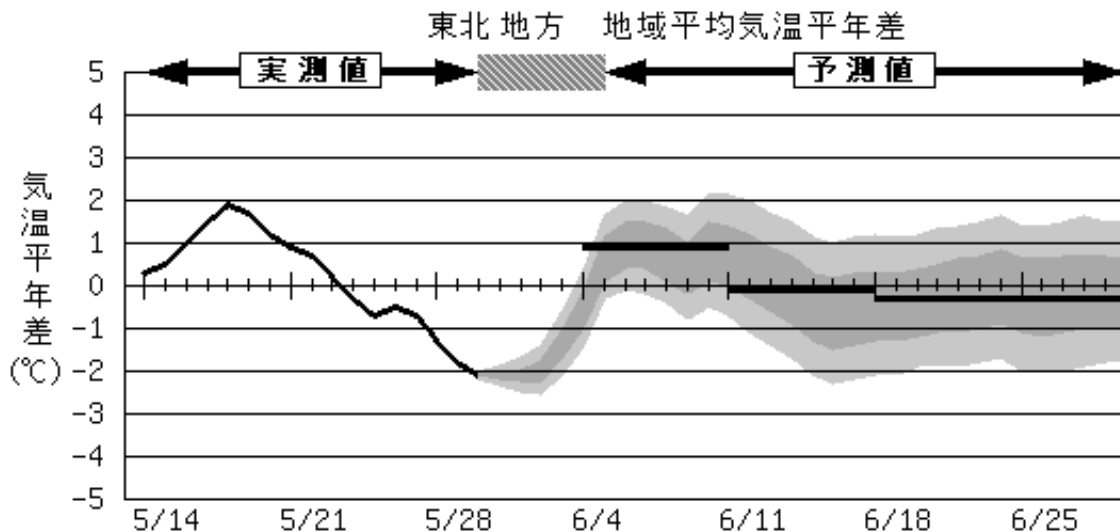
主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数（日）

青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
13.6	7.6	13.4	9.5	11.8	9.0	10.0	10.4	11.7	9.5	10.0	10.1

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目は平年を上回り、2週目、3～4週目は平年付近の予想となっている。



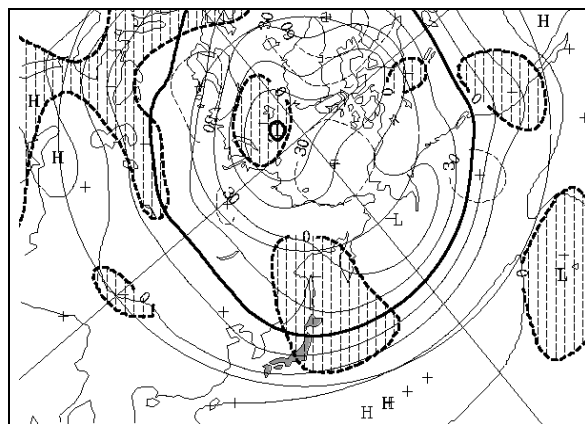
- ・ グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- ・ 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅(濃い陰影の範囲)と、信頼の程度が70%の幅(濃い陰影と薄い陰影の範囲)を表示。
- ・ 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3～4週目の平均を表す。
- ・ ハッチの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

3. 1 か月平均と 1, 2 週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1 か月平均: 日本付近は正偏差と負偏差の境界付近。東日本以北および日本の東海上が弱い負偏差で、北・東日本は東谷傾向のため南よりの湿った空気が流れ込みにくい。東北地方は一時寒気の影響を受ける見込み。また、この期間は梅雨前線の影響が小さい予想で、降水量は少ない見込み。

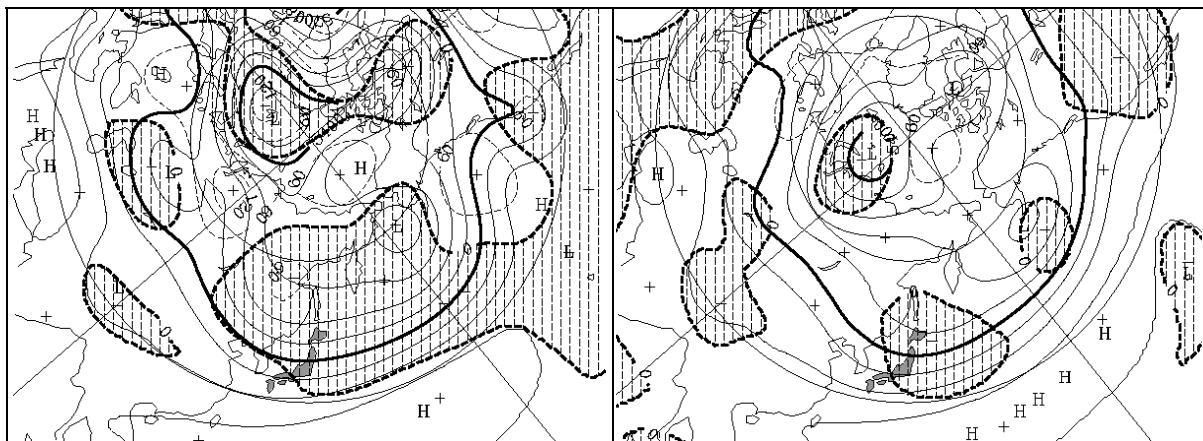
1 週目: 北緯 40～50 度帯では中国東北区を中心に負偏差だが偏差の大きさは小さい。北日本は西谷場となり、東北地方は暖かい南よりの風の影響を受け、高温が予想される。

2 週目: バイカル湖付近が正偏差のリッジ場となる。その下流に位置する日本付近では弱い負偏差域が残る。オホーツク海高気圧の出現が見込まれ、東北地方は低温傾向が予想される。



1 か月平均 500hPa 予想天気図

図の見方は 1, 2 週目と同じ。ただし偏差の間隔は 30m。



1 週目平均 500hPa 予想天気図

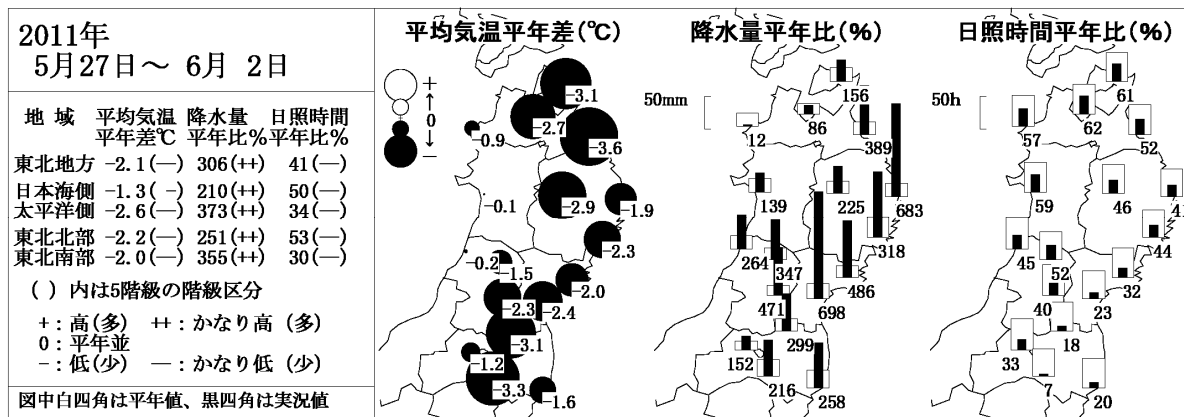
2 週目平均 500hPa 予想天気図

実線は等高度線（間隔 60m）、点線は偏差（間隔 60m）。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

4. 最近 1 週間（5 月 27 日～6 月 2 日）の天候の経過

この期間、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。オホーツク海高気圧が出現し、期間の後半は冷たく湿った東よりの風が続いたため気温がかなり低くなった。また、29 日から 30 日にかけては、台風第 2 号から変わった低気圧が日本の南岸を北東へ進んだ影響で東北太平洋側を中心に大雨となった。

平均気温は東北日本海側で低く、東北太平洋側でかなり低い。降水量は東北地方でかなり多い。日照時間は東北地方でかなり少ない。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の年平差 (比)